

KENWOOD

マルチコントロールMDチェンジャーレシーバー

MJ919

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



使いこなし!
ファンクショナルオペレーション

Functional Operation



ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation



© PRINTED IN JAPAN B64-1682-10 (+)
01/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 00/12 11 10 9 8 7 6 5 4

Source Selection

Audio / X'over Control

Display Control

Function Control

Clock / Timer Control

MD Changer Mode

Tuner Mode

Name Set Mode

EZ Operation

Options

Remote Control

Help ? Operation
? Word! Help
? MP3

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく特許製品です。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます。）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

EZ Operation	10
--------------	----

リモコンでも操作できるゾ!

Remote Control

Remote Control	52
Common Operation	
電池の入れかた	
Tuner Operation	
MD/CD Operation	
Tape Operation	
TV Operation	
SNPS/DNPS Operation	
SBF Operation	

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ!

Help

? Operation	58
? Word	64
? MP3	67

付録

Appendices

取り付け時のご注意	70
接続	72
取り付け	75
保証とアフターサービス	76
仕様一覧	77

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

Source Selection	12
ソース選択	
Audio Control	12
オーディオコントロール	
ユーザー設定のメモリー	
ユーザー設定の呼び出し	
ラウドネスコントロール	
X'over Control	16
クロスオーバーコントロール	
ユーザー設定のメモリー	
ユーザー設定の呼び出し	
Display Control	18
ディスプレイモード選択	
ディスプレイ上段表示	
ディスプレイ下段表示	
ディスプレイ全面表示	
Function Control	21
ファンクションセット	
Clock / Timer Control	22
クロック/タイマーモード切り替え	
時刻合わせ	
ストップウォッチ	
タイマー	
アラーム	
MD Changer Mode	26
ディスクの収納	
プラスワンプレイ	
トラックサーチ	
マニュアルサーチ	
ディスクサーチ	
トラックリピートプレイ	
ディスクリピートプレイ	
ディスクスキャンプレイ	
トラックスキャンプレイ	
ランダムプレイ	
マガジンランダムプレイ	
タイトルスクロール	
Tuner Mode	30
バンド切り替え	
チューニング	
オートメモリー	
マニュアルメモリー	
プリセットチューニング	
モノラル受信	
Name Set Mode	32
SNPS (ステーションネームプリセット)	
DNPS (ディスクネームプリセット)	

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

External Disc Control	34
ディスクサーチ	
トラックサーチ	
マニュアルサーチ	
トラックリピートプレイ	
ディスクリピートプレイ	
トラックスキャンプレイ	
ディスクスキャンプレイ	
トラックランダムプレイ	
マガジンランダムプレイ	
タイトル/テキストスクロール	
演奏時間表示切り替え	
MP3 File Control	38
MP3ファイルプレイ	
ポーズ	
ファイルサーチ	
フォルダサーチ	
フォルダセレクト	
ファイルリピートプレイ	
フォルダリピートプレイ	
ランダムプレイ	
Tape Control	42
早送り/巻戻し	
DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム)	
ドルビーB NRシステム	
インデックススキャンプレイ	
ブランクスキップ	
リピートプレイ	
プログラム	
テープセレクトター	
TV Control	44
チューニング	
バンド/ビデオ切り替え	
オートメモリー	
マニュアルメモリー	
プリセットチューニング	
音声多重切り替え	
DSP Control	46
DSPコントロール	
サウンドフィールドの選択	
DSPの調節	
イコライザーモードの選択	
イコライザーカーブの調節	
ポジションの選択	
ルームサイズの選択	
DSPディフィート	
ユーザー設定のメモリー	
ユーザー設定の呼び出し	

Source Selection

Audio / X'over Control

Display Control

Function Control

Clock / Timer Control

MD Changer Mode

Tuner Mode

Name Set Mode

EZ Operation

Options

Remote Control

Help

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。
ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなす! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。
すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。
別売品を接続しているときにお読みください。

Help

- ? Operation 思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。
- ? Word 取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。
- ? MP3 別売品のMP3対応CDプレーヤー“D919”でプレイできるメディアやそのフォーマットの説明をしています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した [Remote Control]、本機の取り付け方法を説明した [Appendices] があります。

❗ 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。
このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて

- 共通の操作**
ソースにかかわらずない共通の操作を表しています。
- ディスクの操作**
MDをプレイする操作を表しています。なお、この取扱説明書では、MDとCDをまとめて「ディスク」と呼んでいます。
- チューナーの操作**
FM/AM放送を受信する操作を表しています。
- 注意**
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。
- メモ**
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。
また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す
ボタンをチョンと押すことを表します。

A

1秒以上押す
1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。

C

動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。
通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押しします。押し秒数は矢印の中の表示を自由にできます。

DSP Control

この辺ボタンABC... 操作するボタンがどこにあるのか...、位置を表すためのマークです。

1 DSPコントロールモードに

A

ディスプレイ表示 このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

2 ルームサイズを選びます

C

表示される文字/内容

押すたびに次の順で切り替わります

ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

SMALL コンパクトカーなど

MEDIUM セダンなど（初期設定）

LARGE 1BOXやRVなど

内容の説明

- Source Selection
- Audio / X'over Control
- Display Control
- Function Control
- Clock / Timer Control
- MD Changer Mode
- Tuner Mode
- Name Set Mode

- EZ Operation
- Options
- Remote Control
- Help

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。

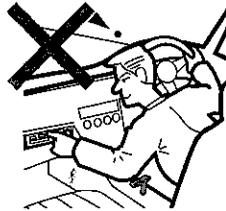
警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

●音量調節などのカーオーディオの操作



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

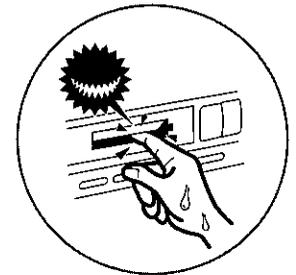
修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



禁止

カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。

ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

使用上のご注意

本機には 下記の別売品ユニットを 接続できます

- ◆CDプレーヤー/カセットプレーヤー/DSP
 - ・MP3対応CDプレーヤー “D919”
 - ・DSPグラフィックイコライザーCDプレーヤー “D909” / “D707”
 - ・DSPグラフィックイコライザーカセットプレーヤー “X909” / “X707”
 - ・DSPイコライザー “P707”以上のうちいずれか1台。ただし、“D919”と“P707”の同時使用は可能です。
 - ◆CDチェンジャー
 - ・10枚CDチェンジャー “C919” / “C910” / “C710”
 - ・6枚CDチェンジャー “C906” / “C706”以上のうちいずれか合計2台まで。
 - ◆TVモニター/CDプレーヤー
 - ・7inch ワイドインダッシュTV “LZ-M700”
 - ・6.5inch ワイドインダッシュTV “LZ919” / “LZ907”
 - ・5.8inch ワイドインダッシュTV・CDプレーヤー “VZ907”以上のうちいずれか1台。(接続には別売品のBUS接続ケーブルが必要です)
- なお、MX-BUS ディスクチェンジャーを使用する場合は、接続できるディスクチェンジャーは1台のみとなります。
- また、MX-BUS ディスクチェンジャーでは“DNPS”、“SBF”、および“ダイレクトディスクサーチ”機能は使用できません。

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

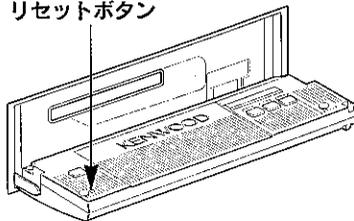
セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

セットの異常にお気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンをペン先などで押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

リセットボタン



リモコンの電池について

操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

● 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDの演奏ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

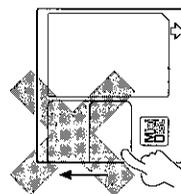
寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内側に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDの読み取りができなくなります。このようなときは、MDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油污れが付いた状態で使用すると、ディスクが引き込まれなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっていています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。

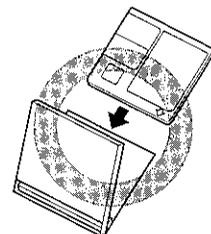


ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。

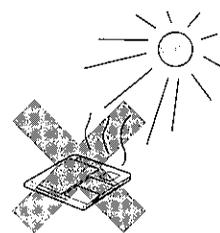


データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

ディスクのプレイは簡単! ディスクを差し込むだけです。

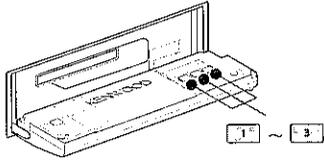
MDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。
ディスクが入っているときに押すと、MD、FM/AM放送が切り替わります。

電源をオン/オフします。
押すと、電源がオンになります。1秒以上押すと、電源がオフになります。

音量を下げます。

音量を上げます。

MDを取り出すときは...
①を押して操作パネルを開き、取り出すMDの番号のイジェクトボタン (1 ~ 3) を押します。プレイ中のMDを取り出すとFM/AM放送を受信、またはオールオフになります。



- ディスクを手で押して、完全に引き込まれてから操作パネルを閉じてください。
- 操作パネルは右側を押して確実に閉じてください。
- イジェクトボタンを押すときなどに、開いている操作パネルに無理な力をかけないでください。

MDをプレイするときは...
①を押して操作パネルを開き、プレイするMDを差し込みます。差し込んだMDがプレイされます。

●MDがプレイポジション (MDの再生場所) にあるときにMDを差し込むと、差し込んだMDはプレイされずにストックポジション (MDの収納場所) に収納されます。

チェンジャーにMDを収納するときは...
MDのプレイ中またはMDがプレイポジション (MDの再生場所) にあるときに差し込みます。空いているストックポジション (MDの収納場所) の一番小さい番号から順に、プレイポジションのMDを含めて合計3枚まで収納されます。

●MDがプレイポジション (MDの再生場所) がないときにMDを差し込むと、差し込んだMDはストックポジション (MDの収納場所) に収納されずにプレイされます。

本機ではMDを3枚まで挿入してディスクチェンジャーを楽しむことができます。またMDがすでに3枚挿入されているときでも、4枚目のMDを差し込んでシングルMDプレーヤーとして活用することもできます。(プラスワンプレイの26ページ)

次のMDにチェンジします。
FM放送のバンド (FM1/FM2) を切り替えます。

前のMDにチェンジします。
AM放送のバンド (AM1/AM2) を切り替えます。

演奏を一時停止します。もう一度押すとプレイします。

1秒以上押すと、交通情報を受信します。もう一度押すと、元に戻ります。

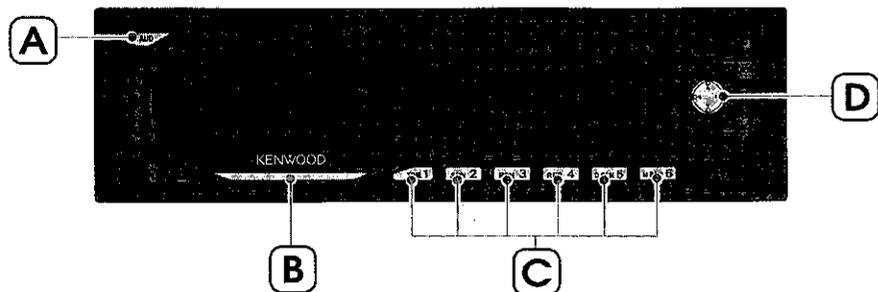
メモリーされている放送局を選びます。2秒以上押すと、受信中の放送局を、ボタンにメモリーします。

プレイする曲を選びます。
受信する放送局を選びます。0.5秒間以上押すと、受信状態の良い放送局を自動的に選択できます。
交通情報の周波数を選びます。

注意
●安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
●操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。

- Source Selection
- Audio / X'over Control
- Display Control
- Function Control
- Clock / Timer Control
- MD Changer Mode
- Tuner Mode
- Name Set Mode

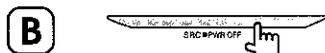
- Options
- Remote Control
- Help



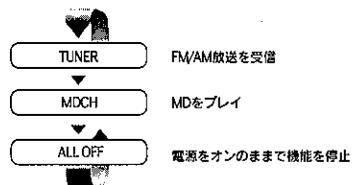
プレイするソースを選びます。
また、音質などを調節します。

ソース選択

プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品が接続されているときには、次の順で切り替わります。



MP3ファイルはMP3対応CDプレーヤー“D919” (別売品) でのみプレイが可能です。

オーディオコントロール

音質やバランスなどを設定します。

1 調節するソースに切り替えます

2 オーディオコントロールモードにします



コントロールモードがオフのときは、1回押します。
押すたびにオーディオコントロールモード、クロスオーバーコントロールモード、DSPコントロールモード (別売品“P707”接続時)、コントロールモードオフとに切り替わります。

3 設定する項目を選択します



4 値を選択します



D.B.P. (ダイナミックブーストプリセット) の設定



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
D.B.P. (ダイナミックブーストプリセット)	[MEM 1] FLAT(フラット) [MEM 2] ROCK(ロック) [MEM 3] POPS(ポップス) [MEM 4] JAZZ(ジャズ) [MEM 5] EASY(イージー) [MEM 6] D.B. SCAN (スキャン:1~5が徐々に切り替わります)
BASS f (低音中心周波数)	60/70/80 /100または150(Hz)
BASS (低音)	-6 ~ 0 ~ +6
BASS Q (低音クオリティファクター)	1.00/1.25/1.50/2.00
BASS EXT (低音中心周波数伸張)	ON/OFF
TRE f (高音中心周波数)	10.0/12.5/15.0/17.5(kHz)
TREBLE (高音)	-6 ~ 0 ~ +6
BALANCE (左右)	L15 ~ 0 ~ R15
FADER (前後)	F15 ~ 0 ~ R15
N-F LV (ノンフェーダープリアウト出力レベル)	-35 ~ 0 ~ +5
AMP CONT. (外部アンプコントロール)	OFF/1/2

(太字は初期設定値)

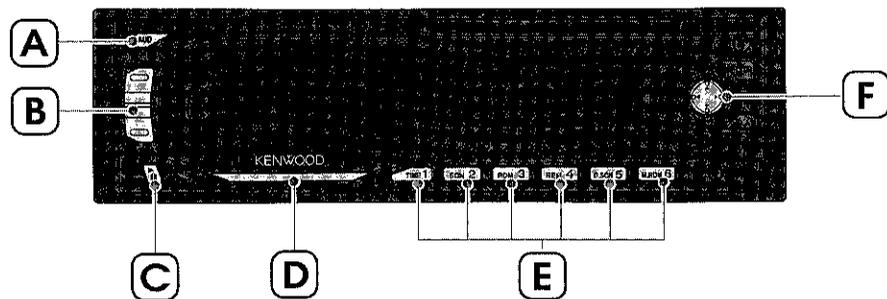
5 オーディオコントロールモードを終了します



2回(別売品“P707”接続時は3回)押します。
または、約10秒間以上、何も操作しないでお待ち。

- D.B.P. (ダイナミックブーストプリセット)、BASS f (低音中心周波数)、BASS (低音)、BASS Q (低音クオリティファクター)、BASS EXT (低音中心周波数伸張)、TRE f (高音中心周波数)、およびTREBLE (高音) は各ソースごとにメモリーされます。
- D.B.P. (ダイナミックブーストプリセット)、BASS f (低音中心周波数)、BASS Q (低音クオリティファクター)、BASS EXT (低音中心周波数伸張)、およびTRE f (高音中心周波数) はファンクションセットの“D.B. CTRL”項目が“ON”に設定されているときに表示・設定が行えます。
- BASS Q (低音クオリティファクター) の設定値により、BASS f (低音中心周波数) の設定可能な周波数が以下のように変わります。

BASS Q 設定値	BASS f 設定可能値
1.00/1.25/1.50	60/70/80/100(Hz)
2.00	60/70/80/150(Hz)



ユーザー設定のメモリー

ユーザー独自のオーディオコントロール設定を6種類までメモリーしておくことができます。

1 オーディオコントロールモードにします

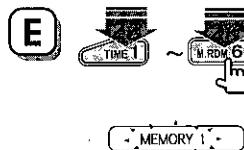


2 オーディオコントロールを設定します



メモリーできる項目は、BASS f (低音中心周波数)、BASS (低音)、BASS Q (低音クオリティファクター)、BASS EXT (低音中心周波数伸張)、TRE f (高音中心周波数)、またはTREBLE (高音) の設定モード中にメモリーできます。

3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



メモリーナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。
BASS f (低音中心周波数)、BASS (低音)、BASS Q (低音クオリティファクター)、BASS EXT (低音中心周波数伸張)、TRE f (高音中心周波数)、またはTREBLE (高音) の設定モード中にメモリーできます。

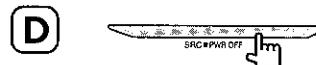
4 オーディオコントロールモードを終了します



ユーザー設定の呼び出し

メモリーしたユーザー設定を呼び出します。

1 設定したいソースにします

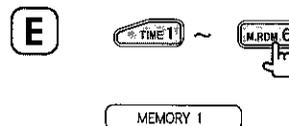


2 オーディオコントロールモードにします



呼び出せるのは、BASS f (低音中心周波数)、BASS (低音)、BASS Q (低音クオリティファクター)、BASS EXT (低音中心周波数伸張)、TRE f (高音中心周波数)、およびTREBLE (高音) の設定モード中です。

3 メモリーボタン(1~6のいずれか)を選びます



4 オーディオコントロールモードを終了します



ラウドネスコントロール

高域音と低音域を強調してメリハリのある音質にします。



1秒以上押すたびに、ラウドネスコントロールがオン/オフされます。

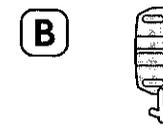
交通情報音量設定

交通情報受信時の音量をメモリーします。

1 交通情報モードにします



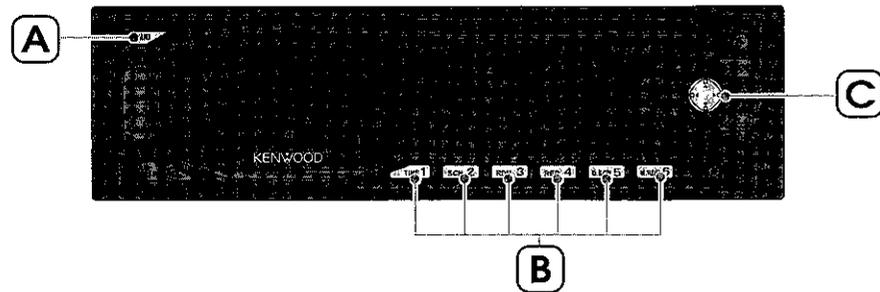
2 設定したい音量にします



3 音量をメモリーします



音量表示が1回点滅するまで押し続けます。次回から交通情報モードにすると、自動的に、この設定した音量になります。



クロスオーバーコントロール カットオフ周波数と位相を設定します。

1 クロスオーバーコントロールモードに入ります



コントロールモードがオフのときは、2回押します。

押すたびにオーディオコントロールモード、クロスオーバーコントロールモード、DSPコントロールモード(別売品"P707"接続時)、コントロールモードオフが切り替わります。

2 設定する項目を選択します



設定項目の詳細な機能説明はHelp(P.64)を参照してください。

3 値を選択します



4 クロスオーバーコントロールモードを終了します



1回(別売品"P707"接続時は2回)押します。または、約10秒以上、何も操作しないで済みます。

設定できる項目と値は次のとおりです

設定項目	設定値
HPF-F (フロント低音カット)	THRU/40/60/80/100/120/150/ 180/220(Hz)
HPF-R (リア低音カット)	THRU/40/60/80/100/120/150/ 180/220(Hz)
LPF NF (ノンフェーダー高音カット)	50/80/120/THRU(Hz)
PHASE (ノンフェーダー出力位相)	NOR(正相)/REV(逆相)

(太字は初期設定値)

ノンフェーダー出力をサブウーファー用として使うときに、この機能でクロスオーバーネットワークの設定をします。

ユーザー設定のメモリー

ユーザー独自のクロスオーバーコントロール設定を6種類までメモリーしておくことができます。

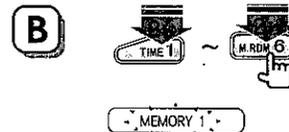
1 クロスオーバーコントロールモードに入ります



2 クロスオーバーコントロールを設定します



3 メモリーするボタン(1~6のいずれか)を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

4 クロスオーバーコントロールモードを終了します



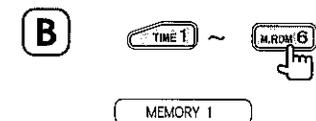
ユーザー設定の呼び出し

メモリーしたユーザー設定を呼び出します。

1 クロスオーバーコントロールモードに入ります

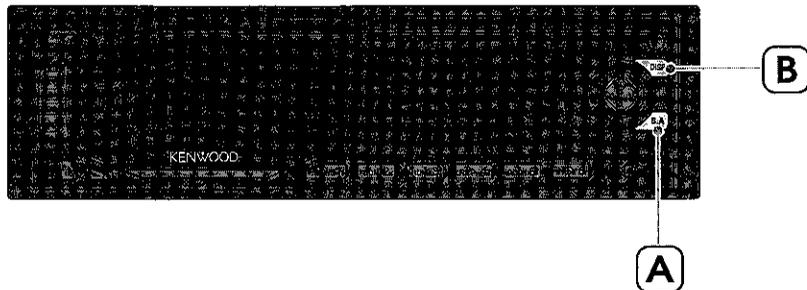


2 メモリーボタン(1~6のいずれか)を選びます



3 クロスオーバーコントロールモードを終了します





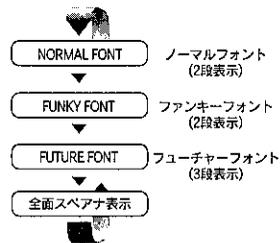
ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

ディスプレイモード選択

ディスプレイの表示方法(2段表示/3段表示/全面表示)とフォントを切り替えます。



1秒以上押すたびに、次の順に切り替わります。



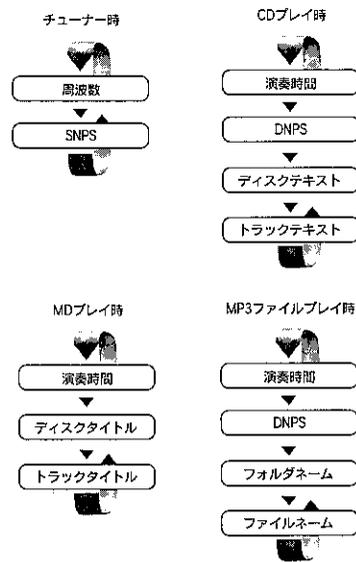
ディスプレイ上段表示

ディスプレイの上段に表示される情報を切り替えます。



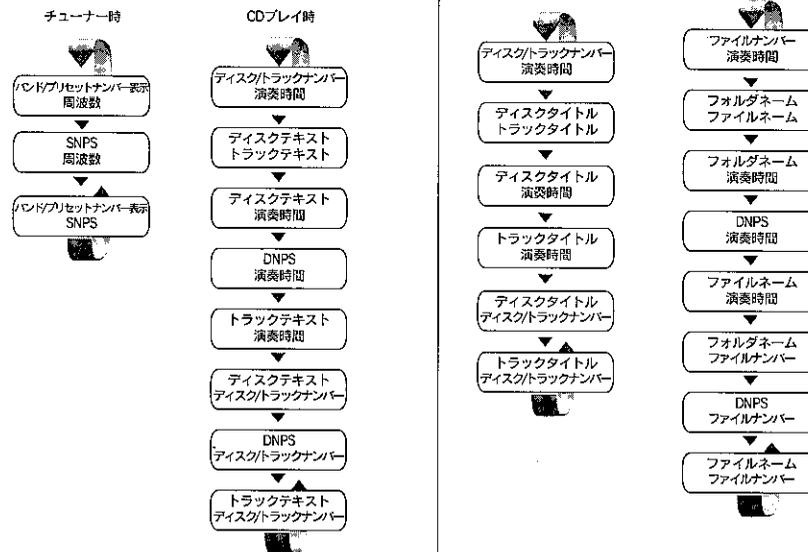
押すたびに次の順で切り替わります。

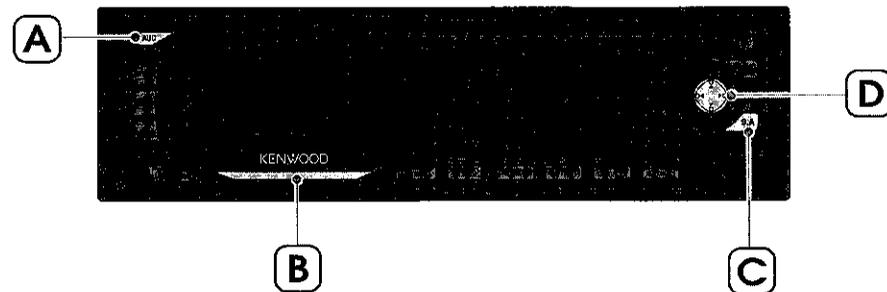
ノーマル/ファンキーフォントのときは



ただし、ディスプレイの下段と同じ情報は表示されません。また、ソースが“AUX”/“TV”/“TAPE”時は上段の表示は切り替わりません。

フューチャーフォントのときは





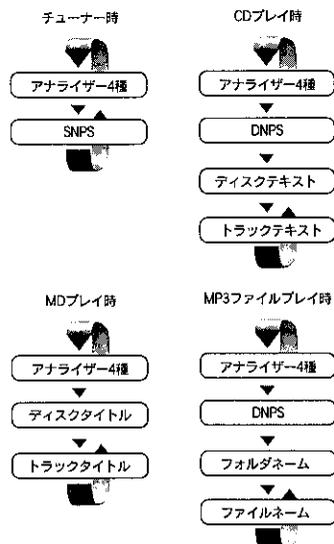
本機の各種の機能を設定します。

ディスプレイ下段表示

ディスプレイの下段に表示される情報を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。

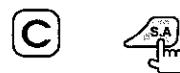


ただし、ディスプレイの上段と同じ情報は表示されません。また、ソースが“AUX”/“TV”/“TAPE”時は“アナライザー4種”の切り替えのみ可能です。

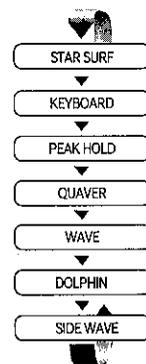
● フューチャーフォント選択時は、ディスプレイ下段表示はクロック/タイマーのみとなります。

ディスプレイ全面表示

ディスプレイモード選択で全面スペアナ表示が選択されているときのディスプレイの全面アナライザー表示を切り替えます。



押すたびに、全面アナライザー表示が以下のように切り替わります。



ファンクションセット

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

1 ALL OFFモードにします



2 ファンクションセットモードにします



3 設定する項目を選択します



4 値を選択します



5 ファンクションセットモードを終了します



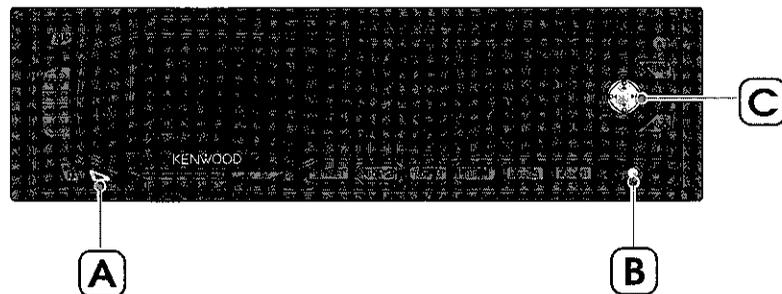
設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
BEEP (ビープ音)	OFF/ON
FM DIVER (FMダイバシティシステム)	OFF/ON
DIMMER (ライトスイッチがオンのときのディスプレイの明るさ)	LOW/MID/HIGH
SILENT (落ち着いた表示)	OFF/ON
D.B.CTRL (ダイナミックブーストコントロール) : *DSPユニットが接続されていないときのみ	OFF/ON
SP(スピーカーセクター) : D.B.CTRL項目が“ON”に設定時のみ	STANDARD /NARROW /WIDE/MIDDLE

(太字は初期設定値)

*DSP : DSPユニットとは別売品のP707、D909、D707、X909、およびX707です。

● 設定項目の詳細な機能説明はHelp(P.64)を参照してください。

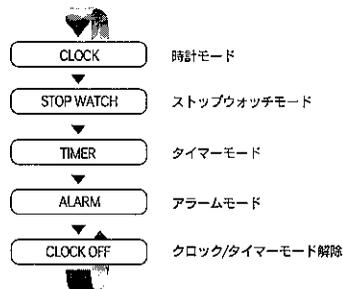


クロック/タイマーモード切り替え

ディスプレイの下端表示をクロック/タイマー表示に切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



時刻合わせ

時刻を合わせます。

1 時計モードにします



2 時計合わせを開始します



“CLOCK ADJ.”と表示されるまで押し続けます。

3 “時”を合わせます



時計を合わせたり、アラームをセットしたりします。

4 “分”を合わせます



分を“00”にするときは



分表示が“00”になるまで押し続けます。“分”が30~59のときに行くと、“時”が1時間繰り上がります。

5 時刻合わせを終了します



“分”を合わせたときは00秒からカウントがスタートします。

ストップウォッチ

ストップウォッチとして使うこともできます。

1 ストップウォッチモードにします



2 計測を開始します



3 計測を停止します



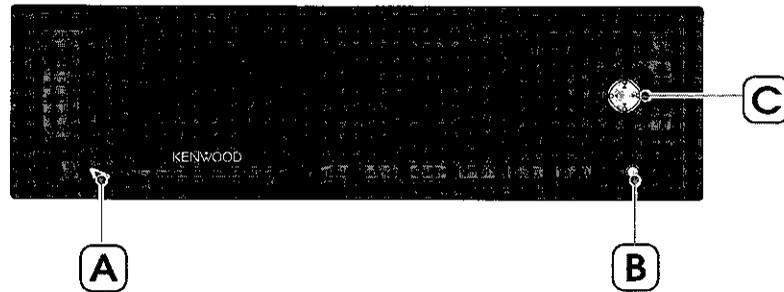
時間をクリアするときは…



計測時間が“0:00'00"0”になるまで押し続けます。

計測を再開するときは…





タイマー

セットした時間が経過したときにピープ音を鳴らします。

1 タイマーモードにします



2 タイマーの時間合わせを開始します



“TIMER ADJ”と表示されるまで押し続けます。

3 “時”をセットします



4 “分”をセットします



“0:00”にするときは



時間表示が“0:00”と表示されるまで押し続けます。

5 時間合わせを終了します



6 タイマーをスタートします



Q インジケーターが点灯します。
設定した時間が経過すると“TIME UP”と表示されピープ音が5秒間鳴ります。

タイマーを停止するときは…



タイマーをクリアするときは…



セットした時間の表示に戻るまで押し続けます。

7 ビープ音を止めます



または、5秒間で止まります。

アラーム

セットした時刻にピープ音を鳴らします。

1 アラームモードにします



2 アラームの時刻合わせを開始します



“ALARM ADJ”と表示されるまで押し続けます。

3 “時”をセットします



4 “分”をセットします



00分にするときは



分表示が“00”と表示されるまで押し続けます。

5 時刻合わせを終了します



6 アラームをオンにします



Q インジケーターが点灯します。
設定した時刻になると“IT'S TIME”と表示されアラーム音が15秒間鳴ります。

アラームをオフにします



7 ビープ音を止めます



または、15秒間で止まります。



ディスクの収納

MDを3枚までチェンジャーに収納します。

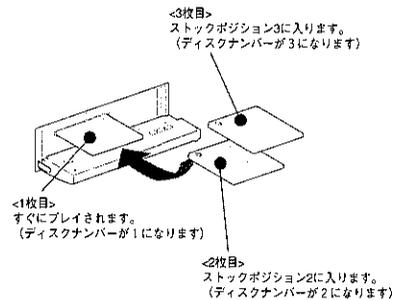
1 操作パネルを開けます



2 MDを（3枚まで）収納します

MDのプレイ中またはプレイが終わったMDがプレイポジション（MDの再生場所）にあるときに差し込みます（MDがプレイポジションにあるときはMDインジケータが点灯します）。空いているストックポジション（MDの収納場所）の一番小さい番号から順に、合計3枚まで収納されます。

例：MDチェンジャーにディスクが入っていないとき



3 操作パネルを閉じます

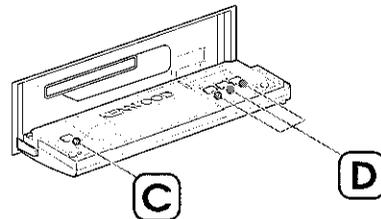
プラスワンプレイ

4枚目のMDをプレイします。

1 操作パネルを開けます



2 プレイポジションを空けます



プレイ中のディスクがストックポジションに収納され、MDインジケータが消えます。

3枚のMDをチェンジしながらプレイできます。

さらに4枚目のMDもプレイできます。

なお、基本的なMDのプレイのしかたはEZ Operation（10ページ）をご覧ください。

3 4枚目のMDを差し込みます

4枚目が差し込まれると自動的にプレイします。

- MDが4枚セットされているときには、収納されているディスクナンバー1～3のMDを使用することはできません。
- MDが4枚セットされているときには、ディスクの収納、ディスクサーチ、ダイレクトディスクサーチ、ディスクリピートプレイ、ディスクスキャンプレイ、マガジンランダムプレイは行えません。これらを行うときは、4枚目に入れたMDを取り出してください。

4 4枚目のMDを取り出します



1 3 のいずれかのイジェクトボタンを押すと、4枚目のMDを取り出せます。

- 4枚目のMDを取り出すと、チューナーモードまたはオールオフモードになります。

トラックサーチ

順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へとトラックサーチします。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。

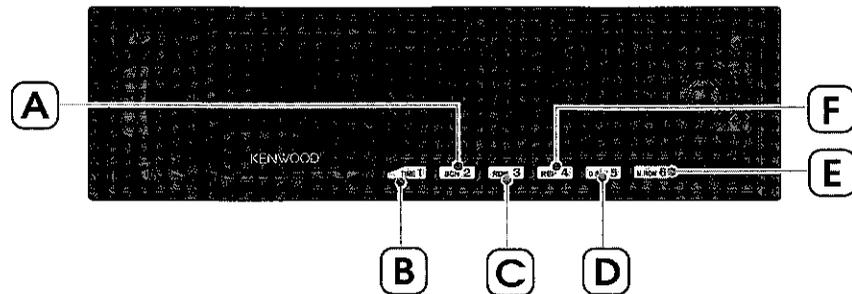


ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

ディスクサーチ

プレイするディスクを選択します。





トラックリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、トラックリピートプレイがオン/オフされます。

ディスクリピートプレイ

現在のディスクを繰り返しプレイします。



“D-REP”と表示されるまで押し続けます。1秒以上押すたびに、ディスクリピートプレイがオン/オフされます。

ディスクスキャンプレイ

本機にセットされている各MDの先頭部分を10秒間ずつプレイして聴きたい曲の入ったディスクを探すことができます。

1 ディスクスキャンプレイを開始します



押すと、ディスクスキャンプレイが開始されます。

2 聴きたいディスクのところまで…



そのディスクからプレイします。
Dを押してもプレイされます。

すべてのディスクがスキャンされると、ディスクスキャンプレイは自動的に終了します。

トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところまで…



その曲からプレイされます。
Dを押してもプレイされます。

すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンは、自動的に終了します。

ランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。

Dを押すと、次の曲の選択を開始します。

マガジンランダムプレイ

本機にセットされているMD内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。

Dを押すと、次の曲の選択を開始します。

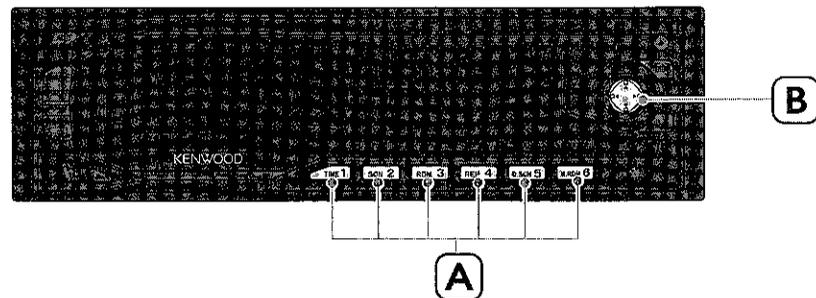
タイトルスクロール

ディスクタイトルやトラックタイトルなどを流れる文字で表示します。



押すたびに、タイトルスクロールがオン/オフされます。

オン時は表示が常にスクロールします。オフ時は表示が切り替わったときに1回スクロールします。



バンド切り替え

FM1とFM2を切り替えます。



AM1とAM2を切り替えます。



チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

オートチューニングするときは



周波数表示が変わり始めるまで押し続けます。
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます



2 オートメモリーします



"AUTO MEMORY"と表示されるまで押し続けます。
● 6局メモリーするか、周波数を一周すると自動的にオートメモリーは終了します。

FM/AM放送を受信します。

また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン(1~6のいずれか)を選びます



FM 1 82.5

ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

プリセットチューニング

メモリーボタン(1~6)にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます



2 メモリーボタン(1~6のいずれか)を選びます



FM 1 82.5-c1

モノラル受信

FM放送のノイズが多いときに、モノラルに切り替えてノイズを少なくします。



"MONO ON"と表示されるまで押し続けます。
1秒以上押すたびに、モノラル受信のオン/オフが切り替わります。



FM/AM放送局やCDに名前を付けて表示させることができます。

SNPS (ステーションネームプリセット)

FM/AM放送局に名前を付けます。
FM/AM放送局にあわせて30局までステーションネームをセットできます。

1 放送局を選びます

30ページを参照してください。

2 SNPSを開始します



"NAME SET"と表示されるまで押し続けます。

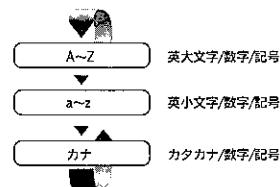
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



4 文字の種類を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。

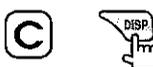


5 文字を選びます



6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 SNPSを終了します



- 10秒間操作を中断すると、その時点で名前が確定されます。
- 名前は12文字まで登録できます。
- 本機をバッテリー電源から外すとSNPSは消去されます。

DNPS (ディスクネームプリセット)

CDに名前を付けます。
CD1/2は各10枚まで、CDチェンジャーは各100枚までディスクネームをセットできます。

1 名前を付けるCDをプレイします

2 DNPSを開始します



"NAME SET"と表示されるまで押し続けます。

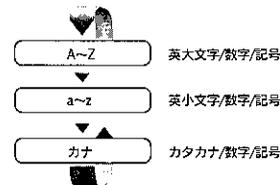
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



4 文字の種類を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



5 文字を選びます

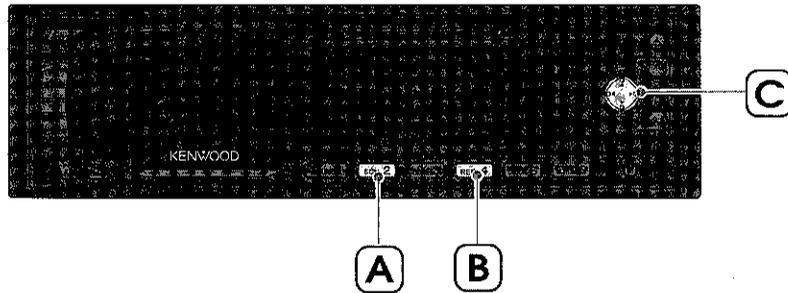


6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 DNPSを終了します



- 10秒間操作を中断すると、その時点で名前が確定されます。
- CDはトラック数(曲数)と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDがセットされている場合には識別できません。
- 名前は12文字まで登録できます。
- 本機をバッテリー電源から外すとDNPSは消去されます。
- MP3が収録されているディスクにDNPSを行うと、すべてのMP3が収録されているディスクに対して同じDNPS表示がされます。



別売品のMP3対応CDプレーヤー “D919”、CDチェンジャー “C919” / “C910” / “C906” / “C710” / “C706”、TV・CDプレーヤー “VZ907”、またはDSPグラフィックイコライザーCDプレーヤー “D909” / “D707” を接続しているときは、本機からコントロールできます。

● **ディスクサーチ** (チェンジャーのみ)
プレイするディスクを選択します。



トラックサーチ
順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

● **マニュアルサーチ**
現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

トラックリピートプレイ
現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、トラックリピートプレイがオン/オフされます。

● **ディスクリピートプレイ** (チェンジャーのみ)
現在のディスクを繰り返しプレイします。



“D-REP”と表示されるまで押し続けます。
1秒以上押すたびに、ディスクリピートプレイがオン/オフされます。

● **トラックスキャンプレイ**
ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 **トラックスキャンプレイを開始します**

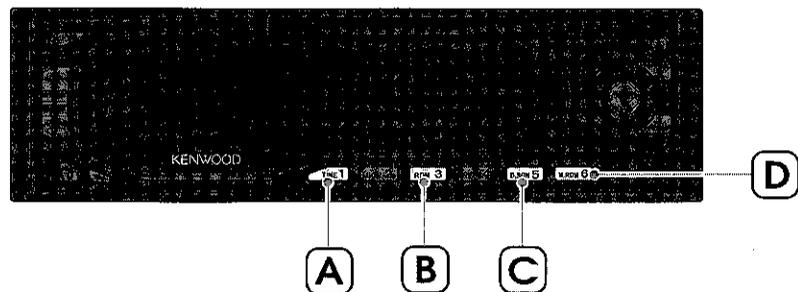


2 **聴きたい曲のところで...**



その曲からプレイします。
[A] を押してもプレイされます。

● すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンは、自動的に終了します。



● **ディスクスキャンプレイ** (チェンジャーのみ)
 マガジン内の各ディスクの先頭部分を10秒ずつ
 プレイしてディスクを探すことができます。

1 ディスクスキャンプレイを開始します



2 聴きたいディスクのところで…



そのディスクからプレイします。
 を押してもプレイされます。

● すべてのディスクがスキャンされると、ディスク
 スキャンプレイは自動的に終了します。

● **トラックランダムプレイ**
 現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイ
 します。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オ
 フされます。

● を押すと、次の曲の選択を開始します。

● **マガジンランダムプレイ** (チェンジャーのみ)
 マガジン内のディスクをランダムな順でプレイ
 します。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オ
 フされます。

● を押すと、次の曲の選択を開始します。

● **タイトル/テキストスクロール**
 ディスクタイトルやトラックタイトルなどを流
 れる文字で表示します。

MDのプレイ中は



押すたびに、タイトルスクロールがオン/オフし
 ます。
 オン時は表示が常にスクロールします。オフ時は
 表示が切り替わったときに1回スクロールしま
 す。

CDのプレイ中は

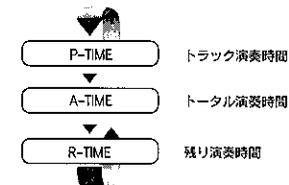


"SCRL ON"と表示されるまで押し続けます。1秒
 以上押すたびに、テキストスクロールがオン/オ
 フします。
 オン時は表示が常にスクロールします。オフ時は
 表示が切り替わったときに1回スクロールしま
 す。

● **演奏時間表示切り替え** (CDのみ)
 演奏時間表示中に表示されるCDの演奏時間を切
 り替えます。



押すたびに、次の順に表示が切り替わります。

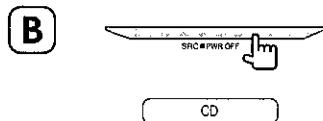




別売品のMP3対応CDプレーヤー“D919”を接続しているときは、本機からコントロールしてMP3ファイルをプレイすることができます。

MP3ファイルプレイ

MP3ファイルを聴きます。



MP3ファイルをプレイするには、本機に別売品のMP3対応CDプレーヤー“D919”を接続し、MP3ファイルの収録されているメディアを挿入して、ソース選択でCD Modeを選択してください。プレイ中のMP3ファイルと同じフォルダに、同一階層のフォルダがあるときは、インジケータが点灯します。

- “D919”でプレイできるメディアはCD-ROM, CD-R, CD-RWです。また、フォーマットがISO9660 level1または level 2のメディアを使用してください。MP3ファイルの書き込み方法や注意などが Help MP3 (67ページ) に記載してあります。メディアを作成する前にご確認ください。
- プレイされるまで、MP3ファイルが収録されているメディアかを確認するため時間がかかります。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します



もう一度押すとプレイを再開します。

- ポーズ中は、MP3関連の操作（ファイルサーチ/フォルダサーチなど）はできません。このような操作を行う場合には、ポーズを解除してください。

ファイルサーチ

順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイの先頭/前の曲へとファイルサーチします。

- ファイル数およびフォルダ階層の状態により、ファイルサーチに時間がかかることがあります。

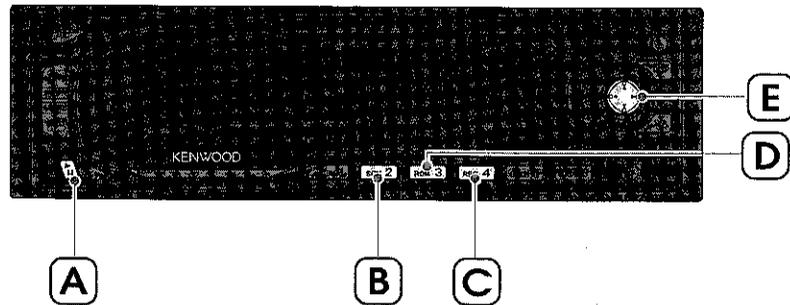
フォルダサーチ

順にフォルダを選びます。



押すたびに、次のフォルダ/前のフォルダへとフォルダサーチします。選択したフォルダ内にファイルがない場合は、自動的にプレイ順で一番近いファイルをプレイします。

- ファイル数およびフォルダ階層の状態により、フォルダサーチに時間がかかることがあります。



フォルダセレクト

聴きたい曲の入っているフォルダをすばやく選択します。

1 フォルダセレクトモードにします



MP3 ファイルプレイが中止され、フォルダセレクトモードになります。

ディスプレイに以下の表示がされます。

<フォルダ名表示>
フォルダ名を表示します。



<階層表示>
フォルダの階層を表示します。

<フォルダナンバー表示>
現在選択されているフォルダが属するフォルダ内での番号を表示します。

ディスプレイが全面スペアナ表示のときは、「フォルダ名」のみ表示されます。

- フォルダが1つも記録されていないメディアでは、フォルダセレクトモードに入ることができません。

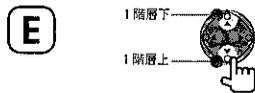
2 フォルダを選びます

同階層内にあるフォルダ間を移動します



押すたびに、同階層内で次のフォルダ/前のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を選択します



押すたびに、1階層上/1階層下へと移動します。

第1階層へ戻ります (Root Jump)



現在聴いているメディアの最上階層のフォルダに戻ります。

- 現在のフォルダが属しているフォルダに、同一階層のフォルダがあるときは □ インジケータが点滅します。
- また、MP3ファイルがあるときは ♪ インジケータが点滅します。
- フォルダセレクト時のフォルダの移動のしかたは、フォルダサーチとは異なります。くわしくは Help MP 3 (68ページ)を参照ください。

3 聴きたい曲が入っているフォルダで…



フォルダセレクトモードが終了し、そのフォルダ内の最初のMP3ファイルがプレイされます。

- フォルダセレクトを終了して、選択したフォルダにMP3ファイルがないときは、プレイ順で一番近いファイルがプレイします。

ファイルリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、ファイルリピートプレイがオン/オフされます。

フォルダリピートプレイ

現在聴いているフォルダ内の曲を繰り返しプレイします。



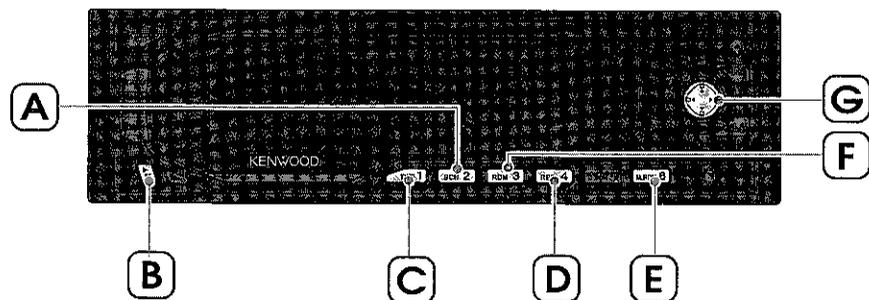
1秒以上押すたびに、フォルダリピートプレイがオン/オフされます。

ランダムプレイ

現在聴いているフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。



別売品のDSPグラフィックイコライザーカセットプレーヤー“X909”/“X707”を接続しているときは、本機からコントロールできます。

早送り／巻戻し

テープを早送り／巻戻しします。

早送り



巻戻し



DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム)

先の曲や前の曲を飛び越し選曲します。



連続して押すと、9曲まで飛び越し選曲できます。

ドルビーB NRシステム

ドルビーB NRシステムをオン／オフします。



押すたびに、ドルビーB NRシステムがオン／オフされます。

インデックススキャンプレイ

テープ内の各曲の先頭部分を10秒ずつプレイして曲を探すことができます。

1 インデックススキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。
 を押してもプレイされます。

ブランクスキップ

無録音部分を早送りします。



押すたびに、ブランクスキップがオン／オフされます。

リピートプレイ

現在の曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、リピートプレイがオン／オフされません。

❗ DPSS、インデックススキャンプレイ、リピートプレイするためには、曲間に4秒間以上の無録音部分が必要です。

プログラム

テープの再生方向 (A面とB面) を切り替えます。



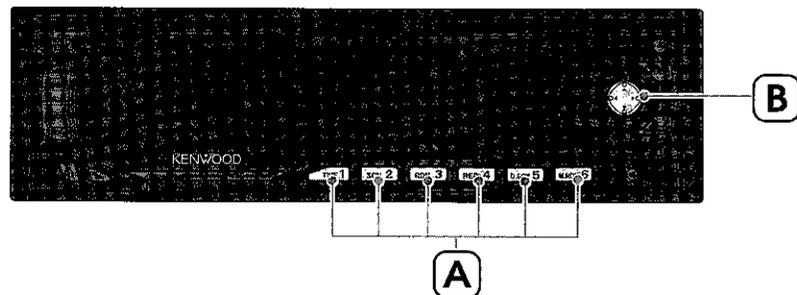
押すたびに、テープの再生方向が切り替わります。

テープセレクトター

テープポジション (ノーマル／メタル) を切り替えます。



押すたびに、テープポジションが切り替わります。
 なお、メタル (Type IV) またはクロム (Type II) はメタルポジションで使用します。



別売品のTVモニター “LZ919” / “LZ907” / “LZ-M700” / “VZ907” を接続しているときは、本機からコントロールできます。

チューニング

受信するTV放送を選びます。



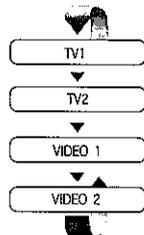
動作は接続しているTVモニター（別売品）の設定によって異なります。詳しくは、TVモニターに付属の取扱説明書を参照してください。

バンド/ビデオ切り替え

TV放送のバンドとビデオ入力を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



TVモニター（別売品）によっては“VIDEO 2”モードがないモデルがあります。詳しくは、TVモニターに付属の取扱説明書を参照してください。

オートメモリー

バンドごとに受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます



2 オートメモリーします



“AUTO MEMORY”と表示されるまで押し続けます。

6局メモリーするか、チャンネルを一巡すると自動的にオートメモリーは終了します。

マニュアルメモリー

受信中のTV放送局をメモリーします。

1 バンドを選びます



2 メモリーする放送局を選択します



3 メモリーするボタン(1~6のいずれか)を選びます



TV1 10ch -c1

ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

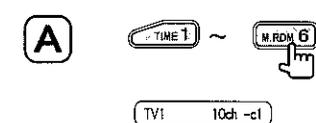
プリセットチューニング

メモリーボタン(1~6)にメモリーされているチャンネルを選びます。

1 バンドを選択します



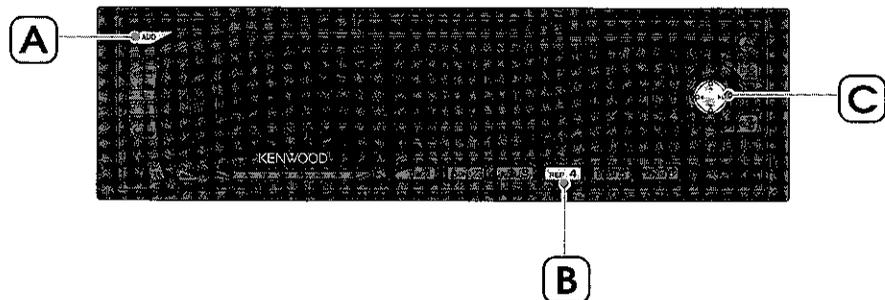
2 メモリーボタン(1~6のいずれか)を選びます



音声多重切り替え

音声多重のメイン音声とサブ音声を切り替えます。





別売品のDSPイコライザー“P707”を接続しているときは、本機からコントロールします。
 なお、DSPグラフィックイコライザーCDプレーヤー“D909”/“D707”またはDSPグラフィックイコライザーカセットプレーヤー“X909”/“X707”のDSPはD909/D707またはX909/X707本体でコントロールします。

DSPコントロール

DSP機能を使います

DSPコントロールモードにします。



コントロールモードがオフのときは、3回押します。
 押すたびにオーディオコントロールモード、クロスオーバーコントロールモード、DSPコントロールモード、コントロールモードオフとに切り替わります。

DSPコントロールモードを終了します。



1回押します。
 または、約10秒以上、何も操作しないでおきます。

サウンドフィールドの選択

疑似音場効果を呼び出します。

1 DSPコントロールモードにします



2 サウンドフィールドを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



! [REP 4] を1秒以上押すと、サウンドフィールドをバイパス (BYPASS) にセットできます。

3 DSPコントロールモードを終了します



DSPの調節

DSPの効果のレベル (“SFC Lev〇〇”)、リア側での低音の補強 (“DBB 〇〇”) ダイナミックレンジの圧縮 (“Comp 〇〇”) を調節します。

1 DSPコントロールモードにします



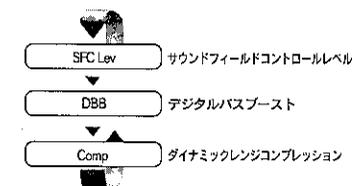
2 サウンドフィールドを選択します



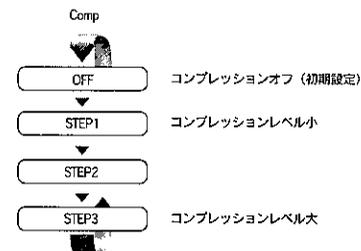
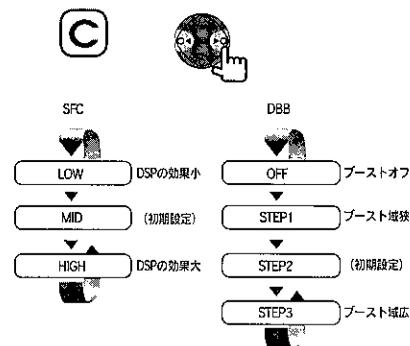
3 調節する項目を選択します



押すたびに、次の順に表示が切り替わります。



4 レベルを調節します



! サウンドフィールドがバイパス (BYPASS) の場合には“Comp”以外は調節できません。

5 DSPコントロールモードを終了します





イコライザーモードの選択

イコライザーカーブを呼び出します。

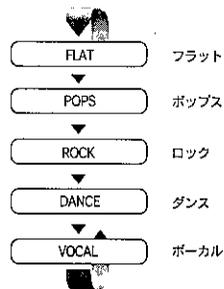
1 DSPコントロールモードにします



2 イコライザーカーブを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



● **[D.SON 5]** を1秒以上押しと、イコライザーカーブをフラット (FLAT) にセットできます。

3 DSPコントロールモードを終了します



イコライザーカーブの調節

車や音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調節できます。

1 DSPコントロールモードにします



2 イコライザーカーブモードを選択します



3 調節する周波数を選びます



4 レベルを調節します



5 DSPコントロールモードを終了します



ポジションの選択

聴く位置に合わせてDSPの効果进行を調節します。

1 DSPコントロールモードにします



2 ポジションを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。

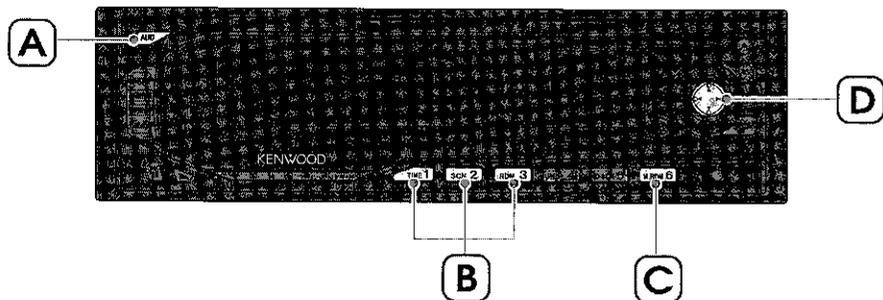


● ポジションの選択を行うときは、バランス/フェーダーを中央位置に設定してください。

● **[M.RDM 6]** を1秒以上押しと、ポジションを車室の中央 (ALL) にセットできます。

3 DSPコントロールモードを終了します





ルームサイズの選択

室内サイズやフロント/リアスピーカーの距離に合わせてDSPを調節します。

1 DSPコントロールモードにします



2 ポジションを選びます

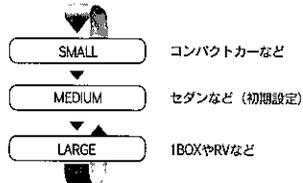


● ポジションが車室の中心 (ALL) の場合には、ルームサイズは選択できません。

3 ルームサイズを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



4 DSPコントロールモードを終了します



DSPデフォルト

DSPの効果を解除します。

1 DSPコントロールモードにします

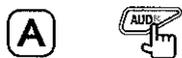


2 DSP効果を解除します



"DSP DEFEAT"と表示されるまで押し続けます。
サウンドフィールドはバイパス (BYPASS)、DSP調節は初期設定、イコライザーカーブはフラット (FLAT)、ポジションは車室中央 (ALL) に設定されます。

3 DSPコントロールモードを終了します



ユーザー設定のメモリー

ユーザー独自のDSP設定を3種類までメモリーしておくことができます。

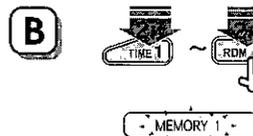
1 DSPコントロールモードにします



2 DSPを設定します

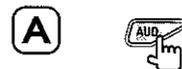
サウンドフィールド、DSPの調節、イコライザーモード、イコライザーカーブ、ポジション、ルームサイズを設定します。

3 メモリーするボタン(1~3のいずれか)を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

4 DSPコントロールモードを終了します



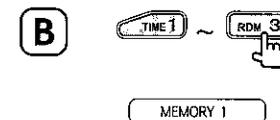
ユーザー設定の呼び出し

メモリーしたユーザー設定を呼び出します。

1 DSPコントロールモードにします



2 メモリーボタン(1~3のいずれか)を選びます

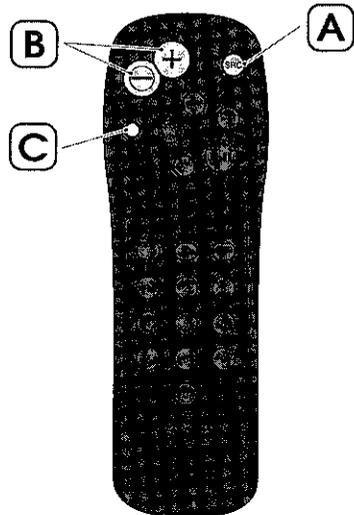


3 DSPコントロールモードを終了します



Remote Control

Common Operation



ソース切り替え

A プレイするソースを切り替えます。

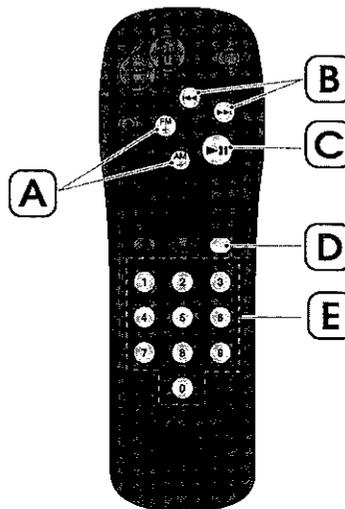
音量調節

B 音量を調節します。

アツテネーター

C ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと元の音量に戻ります。
Ⓢを押しても元の音量に戻ります。

MD/CD/MP3 Operation



ディスクサーチ/フォルダサーチ

A プレイするMD/CD/フォルダを選択します。
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ/ファイルサーチ

B プレイする曲/ファイルを選択します。
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラック/ファイルをダイレクトサーチします。

プレイ/ポーズ

C プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

ダイレクトサーチ(MD/CDのみ)

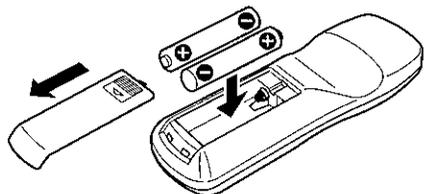
D このボタンに続けて、プレイするディスク番号をテンキーで指定します。
例：ディスク番号3の場合
Ⓢ③

テンキー

E DIRECTキーに続けて、プレイする曲のディスク番号の数字を指定します。
また、テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。MP3ファイルをプレイ時はテンキーに続けてファイルサーチキーを押すと現在のフォルダ内のファイルをダイレクトサーチできます。

電池の入れかた

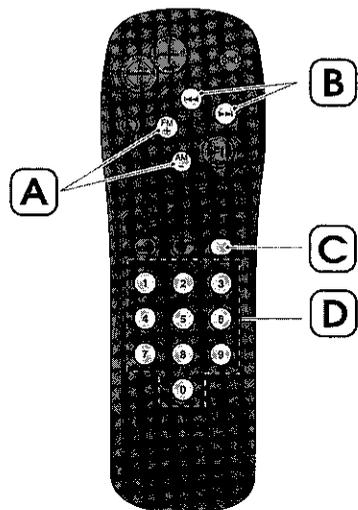
付属の電池（単四型2本）を+/−の向きを正しく合わせて入れてください。



注意 リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。

- 電池の向きは正しく合わせてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池を交換するときは、2本同時に交換してください。

Tuner Operation



バンド切り替え

A 受信するバンドを切り替えます。

選局

B 受信する放送局を選択します。

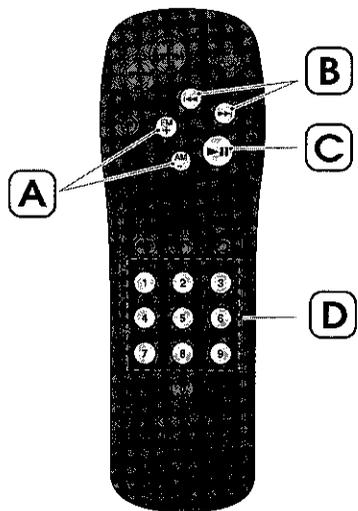
ダイレクトサーチ

C このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。
例：76.1MHz(FM)の場合（3桁）
⑦⑥①
例：1242kHz(AM)の場合（4桁）
①②④②

テンキー

D メモリーされている放送局の番号を選択します。(①~⑥)
DIRECTキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。

Tape Operation



早送り/巻戻し

A テープを早送り/巻戻しします。

DPSS

B 次の曲または現在の曲の先頭/前の曲へ飛び越し選曲します。

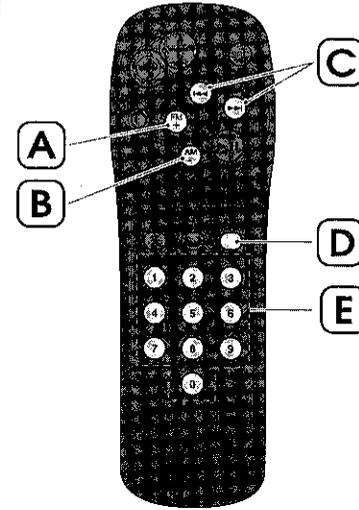
プログラム

C テープの再生方向（A面/B面）を切り替えます。
早送り、早戻し、DPSS中に操作すると、それぞれ解除されます。

テンキー

D 飛び越す曲数を指定し、 または を押します。

TV Operation



バンド/ビデオ切り替え

A 受信するバンド(TV1/TV2)およびビデオ(VideoまたはVideo1/Video2)を切り替えます。

音声多重切り替え

B メイン音声/サブ音声を切り替えます。

チューニング

C 受信する放送局を選択します。

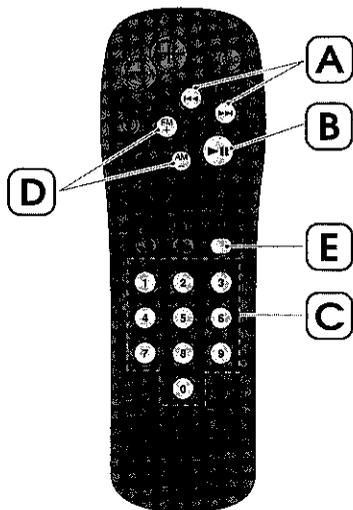
ダイレクト選局

D このボタンに続けて、受信する放送局のチャンネルをテンキーで指定します。
例：12チャンネルの場合
①②

テンキー

E メモリーされている放送局の番号を選択します。(①~⑥)
また、DIRECTキーに続けて、受信する放送局のチャンネルを指定します。

SNPS/DNPS Operation



カーソル

A カーソルを文字を入力する位置に移動します。

文字種切り替え

B 入力する文字の種類（英大文字/英小文字/カタカナ）を切り替えます。

テンキー

C 文字を入力します。
 例：「コ」を入力する場合（カタカナ）
 ②（5回押す）
 例：「n」を入力する場合（英小文字）
 ④（2回押す）

文字選択

D 文字を順に切り替えます。

終了

E 登録が完了します。

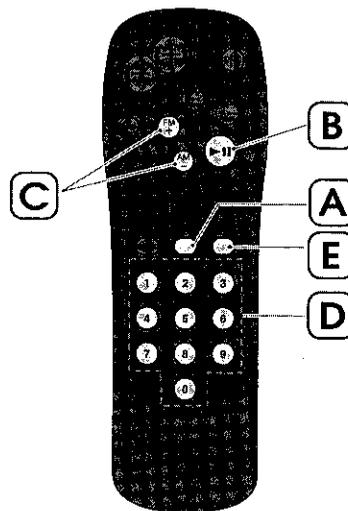
● SNPS/DNPSを開始するには、MJ919本体の を2秒以上押します。

SBF Operation

MDやCDをDNPS、ディスクテキスト、タイトルネームのイニシャルで探すことができます。

また、メモリーボタンに記憶されているFM/AM放送局を名前で見えます。

なお、SBFはリモコンでだけ使用できる機能です。



1 SBFを開始します

A TUNERモード中は、“SBF MODE”と表示され、メモリーボタンに記憶している放送局名を5秒間ずつ次々に表示します。
 CD/MDモード中は“INIT MODE”と表示されてSBFモードになります。

2 文字の種類を選びます(CD/MDモード中のみ)

B 探すディスクの文字の種類（英大文字/英小文字/カタカナ）に切り替えます。

3 イニシャルの文字を選びます(CD/MDモード中のみ)

C 文字を順に切り替えます。

D またはテンキーで入力します。
 例：「コ」を入力する場合（カタカナ）
 ②（5回押す）
 例：「n」を入力する場合（英小文字）
 ④（2回押す）

4 検索します(CD/MDモード中のみ)

A 手順2～3で指定した文字で始まるディスクが5秒間ずつ次々と表示されます。

- 指定したイニシャルに該当するディスクが1枚しかないときは手順5の操作は省略されて、すぐにそのディスクのプレイが始まります。
- 手順2～3を省略すると、すべてのディスクが検索対象になります。

5 聴きたい放送局/ディスクを選びます

E 表示中の放送局/ディスクを受信/プレイします。

- または で放送局名/ディスク名を早送り/早戻しできます。
- でFM1/2バンドにメモリーされている放送局名に、 でAM1/2バンドにメモリーされている放送局名に切り替わります。
- SNPSで名前が登録されていない放送局は周波数が表示されます。

音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっている。
- アッテネーターがオンになっている。
- ヒューズが切れている。
- フェーダー、バランスが片方に寄っている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。

- 音量を適度に上げてください。
- アッテネーターをオフにしてください。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- フェーダーやバランスを正しく調整してください。
- 「接続」(72ページ)を見て正しく接続しなおしてください。

操作スイッチを押しても動作しない

内蔵のマイコンが誤動作している。

リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。

- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がきちんと接続されていない。

- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(72ページ)を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、CD/CDCH/MDCH/TAPE/TV/AUXに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。

- 接続されていないソースには切り替わりません。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

オーディオコントロールのBASS(低音)とTREBLE(高音)調節ができない

DSPイコライザー"P707"、DPSグラフィックイコライザーCDプレーヤー"D909"/"D707"またはDPSグラフィックイコライザーセットプレーヤー"X909"/"X707"が接続されている。

"P707"、"D909"/"D707"または"X909"/"X707"のイコライザーで調節してください。

ラウドネスコントロールをオンにしても高音が強調されない

ラジオを聴いている。

TUNER Modeでは低音のみが強調されます。

セットしてあるアラームが鳴らない

電源がオフになっている。

電源をオンにしてください。

ディスプレイの上段/下段表示の切り替えができない

全面スピーク表示が選択されている

NORMAL、FUNKY、またはFUTURE FONTを選んでください。

MDCH/External Disc mode

SRCボタンを押してもディスク(MD/CD)に切り替わらない

- ディスクがセットされていない。
- CDのイジェクト中に操作パネルを閉めた。

- プレイするディスクをセットしてください。
- EJECTボタンを押して、CDを一旦取り出し、CDを挿入し直してください。

ディスク(MD)が入らない

- すでにMDが3枚入っている。
- すでにMDが4枚入っている。
- MDのディスクチェンジ中などのため。

- STOCKボタンを押してプレイポジションのMDをSTOCKポジションに移動させた後にMDを挿入してください。
- イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出してから入れてください。
- MD挿入口のカバーが開いてから入れてください。

ディスク(CD/MD)が入らない

すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

MDが引き込まれない

MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。

正しい方向で入れてください。

ディスク(MD/CD)のプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が30°を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- 30°以下になるように取り付けしなおしてください。
- しっかりと取り付けしなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

- CDが裏返しである。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。

- レーベル面を上にして入れなおしてください。
- 「CDの取り扱い」を見て、CDをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。
- リセットボタンを押してCDを取り出しから、再度CDを挿入してください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

トラックランダムプレイがオンになっている。

トラックランダムプレイをオフにしてください。

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートがオンになっている。

トラックリピートをオフにしてください。

曲の先頭しかプレイされない

トラックスキッププレイがオンになっている。

トラックスキッププレイをオフにしてください。

チェンジャー内の同じディスクだけがプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。 → ディスクリピートプレイをオフにしてください。

曲が順にプレイされない

トラックランダムプレイがオンになっている。 → トラックランダムプレイをオフにしてください。

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。 → マガジンランダムプレイをオフにしてください。

CDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。 → EJECTボタンをCDがイジェクトするまで押し続けてください。

文字がスクロールされない

ディスクネームを表示しているため → スクロール表示されるのはディスクトラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、およびファイル/フォルダネームです。

ダイレクトディスクサーチができない

●ディスクが1枚しか入っていない。 ●ディスクチェンジャーがBUS変換ボックス"CA-57ZX"を使用して接続されている。 → ●ディスクを2枚以上挿入してください。 ●BUS変換ボックス"CA-57ZX"を使用しているときは、ダイレクトディスクサーチはできません。

MDでディスクサーチ、ダイレクトディスクサーチ、マガジンランダム、ディスクスキャン、ディスクリピートができない

ディスクが4枚入っている。 → ディスクを1枚イジェクトしてください。

マガジンランダム、ディスクスキャンプレイができない

ディスクが1枚しか入っていない → ディスクを2枚以上挿入してください。

ディスク (MD/CD) の音質が悪い (ディスクをプレイ時に雑音が入る)

●ディスクの録音状態が悪い。 ●CDに傷や汚れがある。 → ●他のディスクをプレイして問題がなければ、そのディスク自身に原因があります。 ●「CDの取り扱い」を見て、CDをクリーニングしてください。

Name Set / SBF

DNPS、SBFができない

ディスクスキャン、マガジンランダムがオンになっている → ディスクスキャン、マガジンランダムをオフにしてください。

SNPS表示にしても「NO NAME」と表示される

ステーションネームが登録されていない。 → ステーションネームを登録してください。

タイトル表示に切り替えても「NO TITLE」/「NO TEXT」と表示される

ディスクタイトルやトラックタイトル、ディスクテキストが記録されていない。 → ディスクタイトルやトラックタイトル、ディスクテキストが記録されたディスクをプレイしてください。

登録したはずのステーションネームが消えた

●31局目のステーションネームを登録した。 ●本機をバッテリーから外したため。 → ●登録できるステーションネームは30局分です。 ●本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが消えた

●11枚/101枚目のディスクネームを登録した。 ●本機をバッテリーから外したため。 → ●登録できるディスクネームはCDプレーヤーに10枚、CDチェンジャーに100枚分です。 ●本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

ディスクネームがまちがって表示される

総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。 → 識別する方法はありません。

SBFで名前が表示されない

●ステーションネームやディスクネームが登録されていない。 ●プレーヤーやマガジンに入っているディスクを一度もプレイしていない。 → ●ステーションネームやディスクネームを登録してください。 ●ディスクスキャンを行うなどして、すべてのディスクをプレイしてください。

SNPS/DNPSが途中までしか表示されない

FUTURE FONTを選んでいる。 → FUTURE FONTはNORMAL FONTと比べて文字幅が大きいので12文字すべてが表示されない場合があります。

「NO DISC」と表示される

●プレーヤーやマガジンにディスクが入っていない。 ●プレーヤーやマガジンに入っているディスクを一度もプレイしていない。 → ●ディスクを入れてください。 ●ディスクスキャンを行うなどして、すべてのディスクをプレイしてください。

MDのタイトルが正しく表示されない

MDタイトルに漢字が入っている。 → 漢字表示には対応していないため正しく表示できません。

MP3 File Control

MP3ディスク/MP3ファイルがプレイできない

●ISO9660 level1/2に準拠して記録されていない。 ●MP3ファイルに拡張子が付いてない。 ●ディスクに傷や汚れがある。 → ●ISO9660 level1/2 (67ページ) に準拠したディスクを使用してください。 ●MP3ファイルに拡張子「.MP3」を付けてください。 ●「CDの取り扱い」を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3ファイルをプレイ中に音飛びする

ディスクに傷や汚れがある。

「CDの取り扱い」を見て、ディスクをクリーニングしてください。

フォルダ名/ファイル名が正しく表示されない

- ISO9660 level1/2に準拠して記録されていない。
- ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。

- ISO9660 level1/2 (67ページ) に準拠したディスクを使用してください。
- ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

MP3ディスクをプレイ時に雑音が入る

MP3ファイル以外に拡張子が付いている。

MP3ファイル以外に“MP3”拡張子は付けないでください。

演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

MP3ファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

—

MP3ディスクをプレイするまで時間がかかる

ディスクに記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。

最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているディスクを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

MP3ファイルが順番とおりにプレイされない

プレイさせたい順番とおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。

ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などを入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

マニュアルサーチができない

MP3ファイルのプレイ中にマニュアルサーチはできません。

—

DSP Control

DSP効果が得られない

- 2スピーカーシステムになっている。
- フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。
- スピーカーの極性が逆に接続されている。
- フェーダーまたはバランスの調節が片側に片寄っている。

- 「接続」(72ページ)を見て正しく接続してください。

- フェーダーやバランスを正しく調整してください。

イコライザーを調節しても効果が現れない。

1つの周波数だけを調節している。

調節した周波数の周囲の周波数も調節してください。

SFC Lev、DBBが調節できない

サウンドフィールドが“BYPASS”に設定されている。

サウンドフィールドを“BYPASS”以外に設定してください。

ルームサイズの調節ができない

ポジションが“ALL”に設定されている。

ポジションを“ALL”以外に設定してください。

DSPをコントロールできない (D909/X909/D707/X707/P707接続時)

- DSPとしてD909/D707またはX909/X707が接続されている。
- P707が正しく接続されていない。

- D909/D707またはX909/X707は、それぞれの操作パネルから操作してください。
- 「接続」(72ページ)を見て正しく接続してください。

TAPE Control

カセットテープが入らない

- すでにカセットテープが入っている。
- カセットテープが変形している。
- 逆向きに入れようとした。

- 入っているカセットテープを取り出してください。
- 他のカセットテープを使用してください。
- カセットテープが見える面を右にして入れてください。

SRCボタンを押しても、TAPEに切り替わらない

- カセットテープがセットされていない。
- 正しく接続されていない。

- カセットテープをセットしてください。
- 「接続」(72ページ)を見て正しく接続してください。

DPS、リピート、インデックススキャンできない

曲間の無録音部分が短い。

曲間に無録音部分を4秒以上入れてください。

曲の途中で早送りされる

録音レベルの低い部分が10秒間以上ある。

ブランクスキップをオフにしてください。

ブランクスキップされない

無録音部分の雑音が大きいの。

雑音が小さくなるように録音してください。

TV Control

SRCボタンを押しても、テレビに切り替わらない

LZ919/LZ907/LZ-M700/VZ907が正しく接続されていない。

「接続」(72ページ)を見て、TVモニターLZ919/LZ907/LZ-M700/VZ907を正しく接続してください。

TVの音声をメインとサブに切り替えられない

受信中の放送が音声多重放送ではない。

音声多重放送を受信中のみ切り替えが可能です。

AMP Control

(アンプコントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

BASS f/TRE f

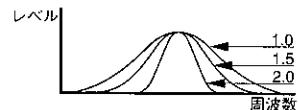
(バスフリクエンシ/トレブルフリクエンシ)

低音と高音を調節する周波数(中心周波数)を、この機能を使って設定することができます。

BASS Q

(バスクオリティーファクタ)

低音の調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。



BASS EXT

(バスエクステンデッド)

この機能をONに設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。

BEEP

(ビーブ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

D.B. CTRL

(ダイナミックブーストコントロール)

オーディオコントロール項目のD.B.P.、BASS f、BASS Q、BASS EXT、TRE fの調節内容およびファンクション項目のSPの設定を有効(ONに設定)にするか、無効(OFFに設定)にするかの設定ができます。

OFFに設定時は、オーディオコントロールおよびファンクションの項目として表示・設定もできません。

D.B.P.

(ダイナミックブーストプリセット)

音楽ジャンル別に、BASS f、BASS、BASS Q、BASS EXT、TREBLE、TRE fの値がプリセットされています。上記項目をそれぞれ設定しなくても、最適な設定をワンタッチで呼び出すことができます。この設定はファンクションのSP項目の設定によっても微調整されて、使用しているスピーカーシステムに最適な設定を呼び出せます。

FMダイバーシティ

2本のFMアンテナから一番受信状態の良いアンテナを瞬時に選び出し、自動的に常に受信状態の良いアンテナに切り替えるシステムです。

車両側で2本のアンテナに対応されている場合もありますが、別売品の汎用ダイバーシティ変換プラグ“CA-83U”などを使用すると、このFMダイバーシティシステムを未対応車でも活用することができます。詳しくはカタログなどをご覧ください。

HPF-F/HPF-R

(フロントハイパスフィルター/リアハイパスフィルター)

サブウファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。設定した周波数より低い音域をカットします。“THROU”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LPF NF

(ノンフェダーローパスフィルター)

ノンフェダー出力から高音を削除することができます。ノンフェダー出力をサブウファー用として使用するとき、この機能で低域のみの音にすることができます。

設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“THROU”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

MP3

(エムピースリー)

正式名「MPEG1 Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本機では接続・コントロール可能な別売品MP3対応CDプレーヤー“D919”にMP3が収録されたメディアを入れることにより聴くことができます。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは“HELP? MP3”(67ページ)をご覧ください。

SP

(スピーカーセレクター)

この機能を使ってスピーカーの口径を設定することにより、オーディオコントロールのD.B.P.項目で呼び出されるBASS f、BASS、BASS Q、BASS EXT、TREBLE、TRE fの設定値が微調整されます。

STANDARD: 一般的な口径のスピーカー

NARROW: 小口径のスピーカー

WIDE: 口径が大きく、低音出力用のスピーカー

MIDDLE: 口径が小さく、高音出力用のスピーカー

ストックポジション プレイポジション

本機内蔵のMDチェンジャーには、ストックポジションとプレイポジションがあります。

普段MDを収納して保管しておくところがストックポジションで、実際にMDを演奏する場所がプレイポジションです。MDは一旦ストックポジションに収納され、演奏するときにストックポジションからエレベーターでプレイポジションに移され再生されます。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品の、CDチェンジャー(C919、C910、C710、C906、C706など)、MDチェンジャー(MD56)です。本機内蔵の3+1MDチェンジャーを指すこともあります。

- システムの接続に異常があるときは以下の表示でお知らせします。
- BUS-E02 : CA-57ZXの使用時にディスクチェンジャーが3台以上接続されている。
- BUS-E50 : センターユニットが2台以上接続されている。
- BUS-E11 : DSPユニット (D909/X909/D707/X707/P707) が2台以上接続されている。
- BUS-W02 : 接続されているCDチェンジャーのNo.スイッチが2台とも同じNo. (1または2) になっている。
 ↳1台のCDチェンジャーのNo.スイッチを“1”に設定し、もう1台を“2”に設定すれば正常に使用できます。
- BUS-W04 : 接続されているMDチェンジャーのNo.スイッチが2台とも同じ番号 (1または2) に設定されている。
 ↳1台のMDチェンジャーのNo.スイッチを“1”に設定し、もう1台を“2”に設定すれば正常に使用できます。
- BUS-W08 : 2台以上のTVモニターがBUSで接続されている。
- EJECT : ディスクチェンジャーにマガジンが入っていない、またはマガジンが完全に入っていない。
- NO DISC : ディスクチェンジャーのマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- ERROR 04 : ●ディスクが異常に汚れている。
 ●ディスクが裏返しになっている。
 ●ディスクにキズが多く付いている。
 ●ディスクが入っていない。
 ●マガジンにトレイが入っていない。
 ↳次のディスクを自動的に演奏します。
- BLANK : 演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も録音されていない。
 ↳次のMDを自動的に演奏します。
- NO TRACK : 演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も記録されていない。
 ↳次のMDを自動的に演奏します。
- READING : ディスクのデータを読み込んでいる。
 ↳ディスクのデータを読み込みが終了すると通常に演奏できます。
- ERROR77 : 何らかの原因で正常に動作していない。
 ↳本機のリセットボタンを押してください。それでも“ERROR 77”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
- ERROR 99 : ●ディスクマガジンに異常がある。
 ●何らかの原因で正常に動作していない。
 ↳ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
 ディスクマガジンに異常がなければ、本機のリセットボタンを押してください。それでも“ERROR99”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
- CD-ROM AREA : CD-ROMデータ領域を再生している。
 ↳この表示中は音声が出ません。
- Cannot display format : MP3フォルダ名/ファイル名の読み込みができなかった。
- H HOLD : 本機および接続しているCDプレーヤー内部の温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
 ↳取り付け場所の温度を下げれば、しばらくのちに表示は消えます。
- HOLD : ディスクチェンジャー内部の温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
 ↳取り付け場所の温度を下げれば、しばらくのちに表示は消えます。
-  : MDプレーヤー部が正常に動作していない。
 ↳MDを入れなおしてください。MDが取り出せない、またはMDを正しく入れなおしても点滅のままの場合は、電源をオフしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

本機からコントロールが可能な別売品MP3対応CDプレーヤー“D919”は、MP3ファイルをプレイすることができますが、使用できるMP3ファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

使用できるメディア

使用できるMP3が収録されているメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。

使用できるディスクのフォーマット

使用できるメディアのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO 9660 level 1およびlevel 2です。ISO 9660 level 1およびlevel 2以外で書き込まれたMP3ファイルは正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

なお、ISO 9660 level 1およびlevel 2の主な規格は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1階層における最大ファイル/フォルダ数：253 (ファイル数+フォルダ数)
- ファイル/フォルダ名使用可能文字 (すべて半角英数字) : A~Z、0~9、_ (アンダースコア)
- 最大ファイル/フォルダ名文字数 (Level 1) : 12文字 (区切り文字“.”+拡張子3文字を含む)
 (Level 2) : 31文字 (区切り文字“.”+拡張子3文字を含む)

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3ファイルに圧縮するときには、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定を“128kbps”の“固定”を推奨します。また、最大容量まで記録する場合は、追記禁止の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字で入力してください。半角英数字以外で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。ライティングソフトによっても正常に表示できない場合があります。なお、IDタグは記録されていても表示することはできません。また、MP3ファイルと認識されてプレイされるファイルはMP3の拡張子(.MP3)が付いたものだけです。このため、MP3ファイルには、MP3の拡張子を付けて保存してください。



禁止

MP3ファイル以外のファイルに、MP3の拡張子を付けると、MP3ファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。MP3ファイル以外のファイルに、MP3の拡張子を付けないようにしてください。

メディアに書き込むファイルについて

MP3が収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。このため、プレイするメディアに多くのフォルダやMP3以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。また、次のMP3ファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。使用するメディアには、MP3ファイル以外のファイルや必要ないフォルダなどを書き込まないようにしてください。



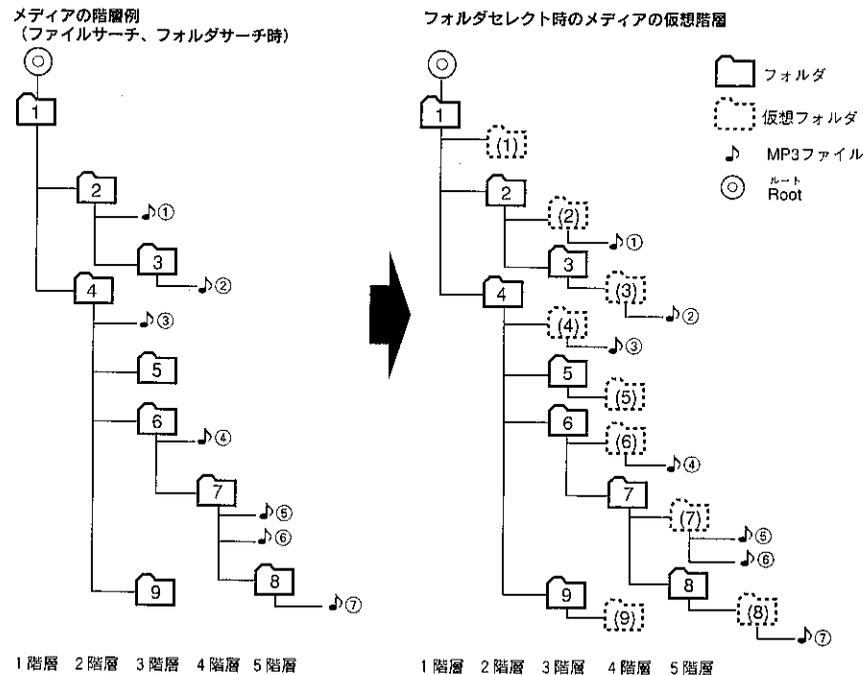
点滅が続く

MP3ファイルをプレイする順番

プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番とプレイされる順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、プレイする順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。



♪④ 再生中にファイルサーチを行うと・・・

ボタン操作 現在の ファイルNo.		
♪④	♪④の先頭 → ♪③ → ♪② → ♪① → ♪②…	♪⑥ → ♪⑥ → ♪⑦ → ♪①…

♪④ 再生中にフォルダサーチを行うと・・・

♪④ を再生中にフォルダサーチをすると、最初は [6] から始まり、次のようにフォルダを選びます。

ボタン操作 現在の フォルダNo.		
[6]	[7] → [8] → [9] → [1]…	[5] → [4] → [3] → [2] → [1] → [9]…

♪③ 再生中にフォルダセレクトを選択し、フォルダの移動を行うと・・・

フォルダセレクト中は前ページのように、各フォルダの1階層下に仮想フォルダを設けます。各フォルダに記録してあるMP3ファイルはこの仮想フォルダに収録されているような階層表示となります。♪③ を再生中にフォルダセレクトモードにすると、最初は [4] ([4] の仮想フォルダ) から始まり、次のようにフォルダを選びます。

- 仮想フォルダのフォルダネームは、本来のフォルダネームに“()”を付けて表示します。例えば、“4”というフォルダネームであれば“(4)”と表示します。このため、仮想フォルダのファイルネーム表示は29文字 (ISO9660 level 2) /10文字 (ISO9660 level 1) までとなります。

ボタン操作 現在の フォルダNo.				
[4]	[9] → [8] → [5] → [4]…	[5] → [6] → [9]…	[4] → [1]	—

- フォルダ内では下に階層がないため の操作はできません。
- このため、上記の例のようにフォルダセレクトモードになった直後は [4] の下に階層がないため の操作はできません。
- フォルダセレクト機能により [1] などへ移動したときに、 の操作で [1] → [1] と1階層下のフォルダを選ぶことができます。

取り付け時のご注意

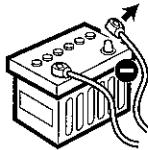
警告



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



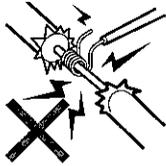
配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



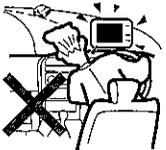
本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



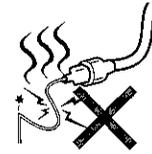
本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



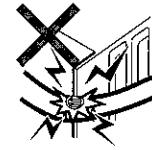
アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



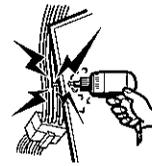
車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



車両の板全部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続

! 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

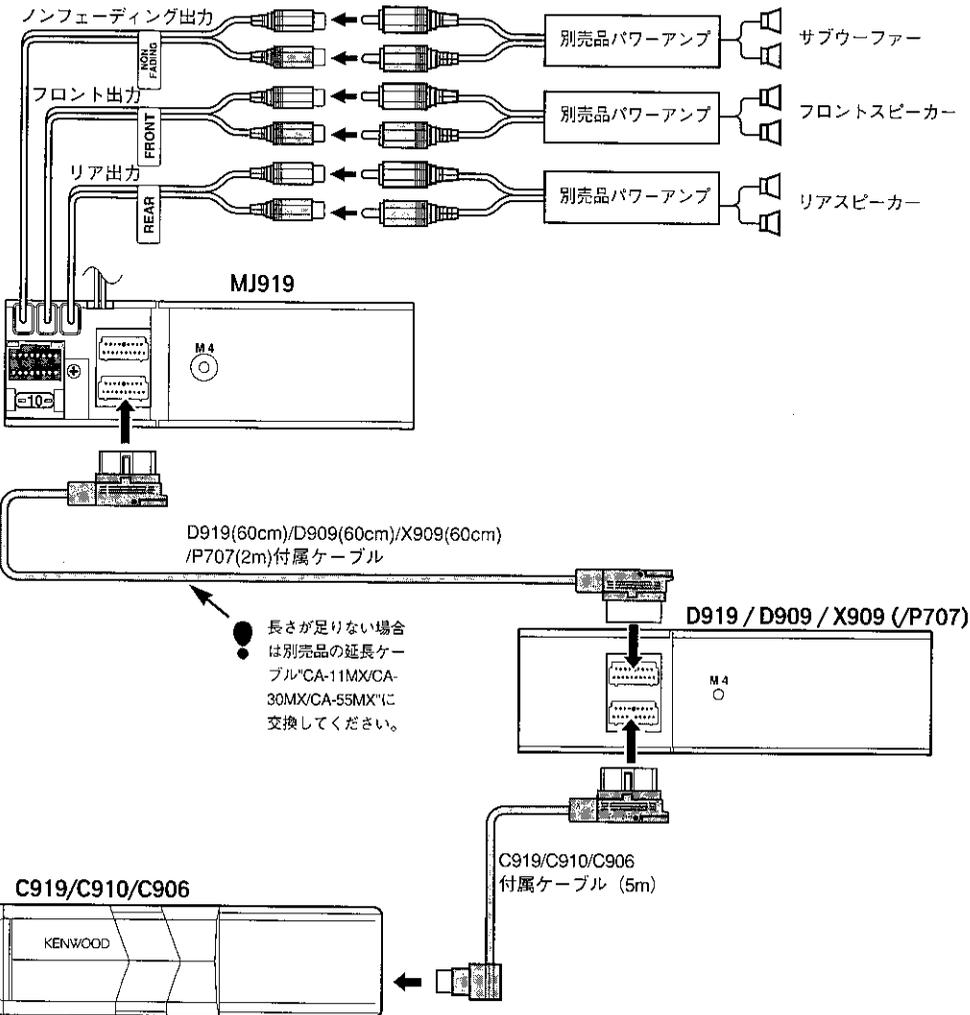
実施

1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクターをMJ919に接続します。
5. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
6. 本機のリセットボタンを押します。

!

実施

- 接続しないBUS端子は保護キャップを外さないでください。
- 本機から外した保護キャップは、接続しているユニットの使用していない端子に差し込んでください。

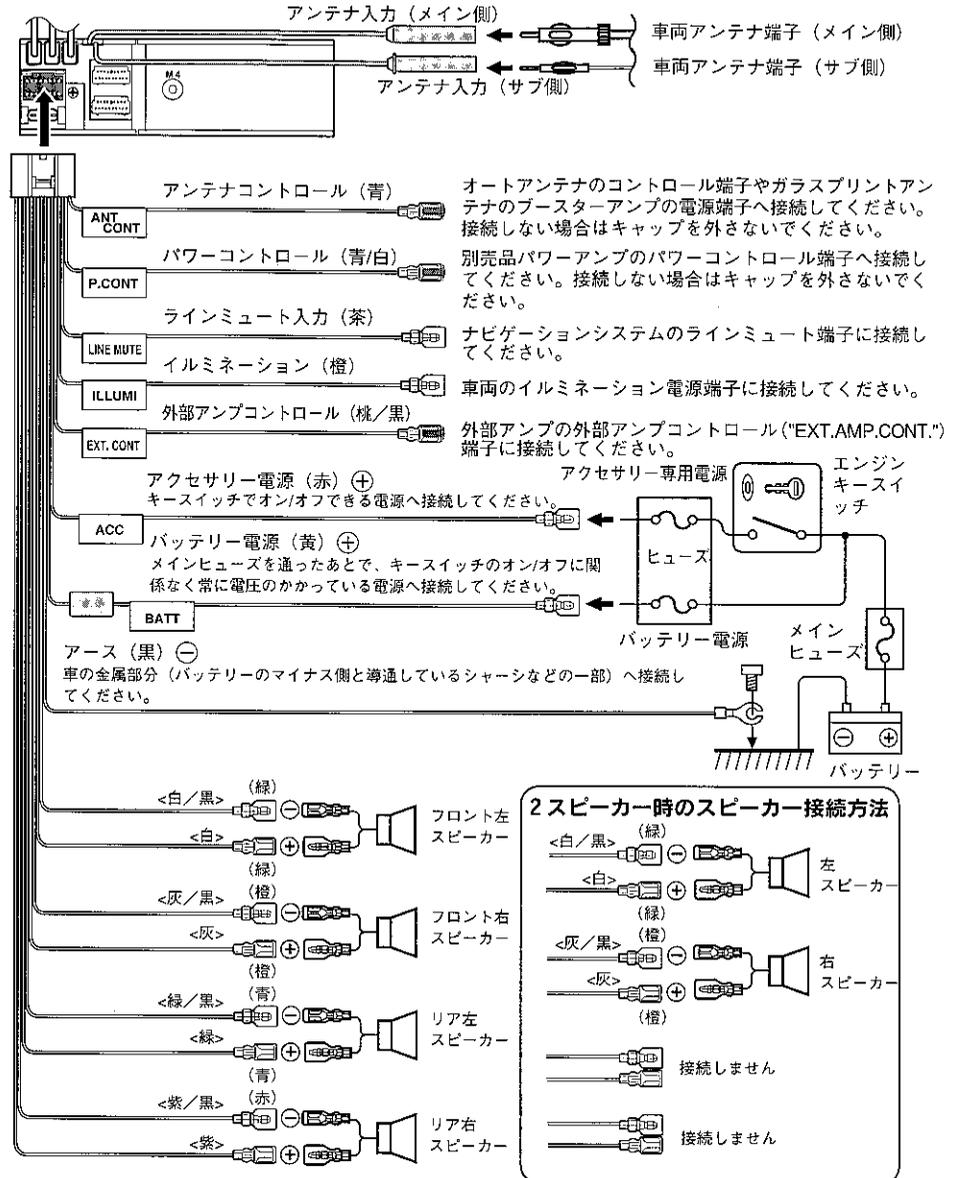


ダイバシティアンテナの接続のしかた

ダイバシティ対応車はサブアンテナ端子を接続できます。アンテナ端子の形状が異なる場合は別売品の変換コードが必要です。詳しくはカーオーディオカタログをご覧ください。

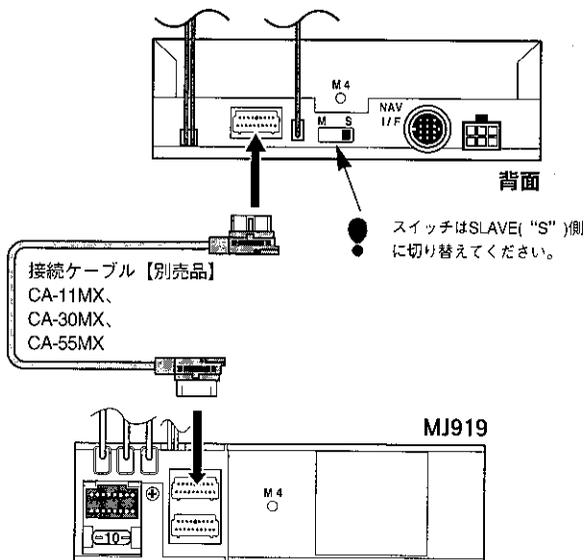
ダイバシティ未対応車へは

別売品の汎用ダイバシティ変換プラグ"CA-83U"と汎用のFMアンテナを追加すると、本機のダイバシティシステムを活用することができます。詳しくはカーオーディオカタログをご覧ください。

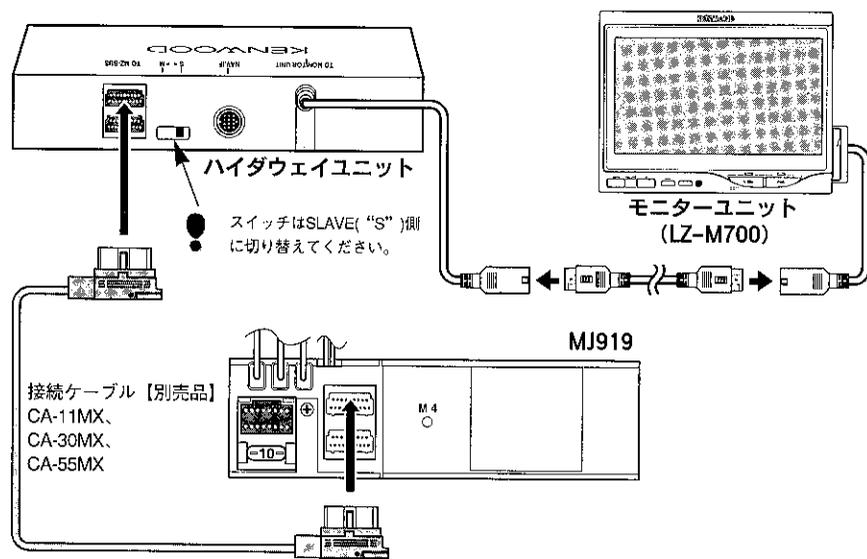


接続

■LZ919/LZ907との接続



■LZ-M700/VZ907との接続



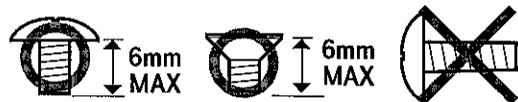
取り付け

付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。なお、取り付けネジはトラスネジとサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



バインドネジ (M4 × 6mm) (付属)

車両ブラケットなど

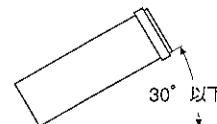
トラスネジまたはサラネジ (M5 × 6mm) (付属)

別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバインドネジで固定します。

トラスネジまたはサラネジ (M5 × 6mm) (付属)



●本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
●操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。

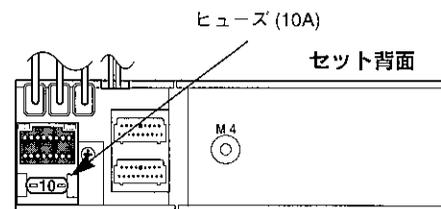


別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

ヒューズの交換



ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量 (アンペア数) の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help? Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比 (dB)	75 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ

MDプレーヤー部

レーザー	GaAlAs (ダブルヘテロダイオード、 $\lambda=780$ nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	31 level $\Delta\Sigma$
回転数	400~900 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz~20 kHz (\pm 1 dB)
高周波歪率	0.005 % (1 kHz)
S/N比 (dB)	98 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	98 dB
ステレオセパレーション	92 dB

オーディオ部

最大出力	45 W \times 4
定格出力	28 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD)
プリアウト・レベル (FM)	1.5 V/10k Ω
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下
トーン・コントロール (低音)	100 Hz \pm 10 dB
(高音)	10 kHz \pm 10 dB

電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10.0 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 50 \times 160 mm
質量 (重さ)	1.4 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5 \times 6mm)	4本
サラネジ (M5 \times 6mm)	4本
バインドネジ (M4 \times 6mm)	1本
リモコン	1個
電池 (単4型)	2本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

MEMO
